

かみいち総合病院改革プラン評価表(経営効率化指標)

1 財務に係る数値目標

主な数値目標	平成30年度	令和元年度				令和2年度		状況報告	評価委員の 評価・指摘事項
	実績	計画値	実績値	自己評価	評価委員	計画値	実績値		
経常収支比率(%)	95.6	99.6	94.6	B	B	100.1	【収支改善に係るもの】 ・経常収支比率については、前年度に比較して約1.0%改悪し、計画値を下回るものであった。		
医業収支比率(%)	88.4	92.0	85.0	B	B	92.6	・医業収支比率については、前年度に比較して約3.4%改悪し、計画値を下回るものであった。 令和元年11月に地域包括ケア病床10床を届け出た。 今後は地域包括ケア病棟を取り入れることで増収を図る。		
不良債務比率(%)	▲ 0.3	0	1.8	B	B	0	・給与費や経費の増額及び駐車場整備に係る費用に伴い 預金が減少につながった。		
医業収益対診療材料比(%)	5.3	5.7	5.5	A	A	5.6	【経費削減に係るもの】 ・材料費については、昨年度と同様で、計画値は下回っている。		
医業収益対薬剤比(%)	8.6	10.8	9.4	A	A	10.8	・薬剤費については、令和元年10月の消費税改定により価格が引き上げられたこと及び高額薬剤(化学療法)の使用量が増加したが計画値を下回った。		
医業収益対委託比(%)	12.3	11.7	12.9	B	B	11.8	・委託費については、給食の委託業者変更に伴い契約額が増加した。		
医業収益対職員給与比(%)	67.7	62.6	70.1	B	B	62.2	・給与費については、職員の増員に伴い給与費が増加し、計画値を上回った。		
後発医薬品使用割合(%)	89.3	85.0	90.0	A	A	85.0	・後発医薬品への切り替えは目標値を達成しているので今後、維持が重要である。		
1日平均患者数(入院)(人)	145.3	153.9	142.3	B	B	156.5	【収入確保に係るもの】 ・平均入院患者数については、減少し計画値までは達成できなかった。		
1日平均患者数(外来)(人)	440.2	491.0	431.6	B	B	493.0	・外来患者数については、前年度から減少し計画値までの達成はできなかった。		
患者1人1日当たり診療収入(入院)(円)	33,856	34,625	34,228	B	B	34,721	・外科の延べ患者が増えたことで1人当たり372円上がっている。		
患者1人1日当たり診療収入(外来)(円)	10,526	10,464	11,036	A	A	10,479	・在宅訪問診療件数と高額薬剤使用の増加により、1人当たり510円上がっている。		
病床利用率(一般)(%)	76.5	82.9	77.1	B	B	83.4	・前年度から病床利用率が上がったものの、計画値までは達成できなかった。		
病床利用率(回復期)(%)	70.3	80.0	69.6	B	B	80.0	・前年度から病床利用率が下がり、計画値を達成できなかった。		
病床利用率(精神)(%)	68.5	71.0	62.5	B	B	74.1	・前年度から病床利用率が下がり、計画値を達成できなかった。		
常勤医師数	24.0	27.0	24.0	B	B	27.0	【経営の安定に係るもの】 ・常勤医師数については、前年度と同数であり、目標を達成できなかった。 ・入院患者対応が可能な医師の確保が必須である。		
医業未収金残高(千円)3月末時点	28,944	30,000	30,074	B	B	30,000	・医業未収金は、計画を達成できなかった。 ・債権発生後1年以上の未収金の縮小を図っていく。		
現金保有残高(千円)	350,897	400,000	164,223	C	C	400,000	現金保有残高については、前年度を下回り、計画値から235,777千円の減となった。		

(注) 達成状況欄は、A:目標以上 B:一定の実績(8割以上) C:実績不足 により評価票1の数値を自己評価した

2 医療機能に係る数値目標

主な数値目標	平成30年度	令和元年度				令和2年度		状況報告	評価委員の評価・指摘事項
	実績	計画値	実績値	自己評価	評価委員	計画値	実績値		
救急車受入件数	481	550	516	B	B	550		<p>【医療機能・医療品質に係るもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急車の受入れ件数については、前年度に比較して増えているが、計画値を達成していない。</li> <li>手術件数については、前年度に比較して増えているが計画値を達成していない。診療科別では、外科の常勤医により97件、眼科で22件の増であったが、整形外科で27件の減少した。</li> <li>紹介率及び逆紹介率については、前年度を上回ったものの計画値を達成できなかった。</li> <li>紹介率を高めることは、入院患者数の増加につながるため、地域医療連携室を中心として紹介患者の確保を図る。</li> </ul>	
手術件数(人)	627	800	707	B	B	800			
紹介率(%)	27.1	29.0	28.6	B	B	29.0			
逆紹介率(%)	18.2	20.0	19.6	B	B	21.0			
在宅訪問診療件数	1044	730	1004	A	A	740		<p>【安心な老後を支える病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅関連の数値は軒並み著しく伸びており、高齢者が安心して暮らせる地域づくりとして在宅医療の需要は今後も増え続けると言える。</li> <li>但し、在宅医療を支える医師は不足しており、今後はどのように在宅医療に対応する医師を確保するかが第一義となる。</li> </ul>	
在宅復帰率(%) (回復期)	92.7	80	90.5	A	A	80			
分娩件数	83	120	107	B	B	120		<p>【命産んで育む病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産科の分娩件数については、前年度に対して24件の増であった。出産可能人口減少の中で分娩件数を増やすため、町と連携した施策が必要である。</li> <li>産婦人科医師を非常勤医師を含めて2名体制にしている。産んで育む上市を守るためにも体制の充実を図りたい。</li> <li>母乳外来件数については、前年度に対して横ばいであった。計画値の減少の要因は、専門知識を有する助産師の退職によるところが大きい。</li> </ul>	
母乳外来件数	47	120	48	C	C	120			
外来患者満足度%	76.7	85.0	80.5	B	B	85.0		<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年1回の満足度調査で評価の低い項目に対して見直しを行い、満足度を高める方策を図る。</li> <li>相談件数について、新たに午前中、総合案内に看護師を配置したことにより、相談件数が増えている。</li> <li>ナイトスクールについては、町民の医療・健康に対する意識向上、病院スタッフと地域住民の意見交換等を行うためにも定期的な開催を実施する。</li> <li>認定看護師の充実に向けて、認定を活かせる体制づくりを図る。</li> </ul>	
入院患者満足度%	89.2	85.0	93.9	A	A	85.0			
患者窓口相談件数	2,553	1,400	4,834	A	A	1,400			
ナイトスクール実施件数	5	6	3	C	C	6			
認定看護師数(人)	10	12	10	B	B	12			

(注) 達成状況欄は、A:目標以上 B:一定の実績(8割以上) C:実績不足 により評価票1の数値を自己評価した

かみいち総合病院改革プラン 評価表 令和元年度分

取組項目	番号	内容	指標	目標値 令和元年度	実績値 令和元年度	自己評価	評価委員	目標値 令和2年度	全体計画	実績及び成果等	評価委員指摘事項等
① 収入増加・確保対策	1	入院外来収益の目標収入額	診療報酬	3,374,208千円	3,111,107千円	B	B	3,413,909千円	・平成28年度 医業収益計 2,974,968千円(実績) ・平成29年度 医業収益計 3,118,227千円(実績) ・令和30年度 医業収益計 3,101,514千円(実績) ・令和元年度 入院医業収益計 1,950,045千円(計画) 外来医業収益計 1,254,220千円(計画) その他医業収益計 169,943千円(計画) ・令和2年度 医業収益計 3,413,909千円(計画)	令和元年度の延べ人数に対して前年度に比べて、外来が3,390人、入院で944人下回っている。 外来の1人1日平均診療収益が510円上がったことにより、外来収益は前年度と比較して17,638千円増収した。 入院の1人1日平均診療収益が372円上がったが、患者の減少が大きく影響し、入院収益は前年度に対して12,578千円減収した。 医業収益の合計額では、前年度より9,593千円増収したが計画値を下回った。 入院収益1,783,241千円 外来収益1,146,194千円 その他 181,672千円	
	2	病棟薬剤師配置による目標収入額 (薬剤指導管理料算定回数増による増収)	診療報酬	14,000千円	14,724千円	A	A	14,000千円	病棟薬剤師業務配置加算(係数割戻し)収入額 令和2年度 5,000千円(計画) 薬剤管理指導料 収入額 令和2年度 9,000千円(計画)	薬剤管理指導料等については、算定率向上に取り組んだ成果であり目標値を達成した。 545,062,650×0.0064=3,488,401円 出来高分836×1,000円=836,000円 薬剤管理指導料①2,074件×3,800円=7,881,200円 薬剤管理指導料②775件×3,250円=2,518,750円 病棟薬剤業務実施加算 4,324千円 薬剤管理指導料 10,400千円	
	3	管理栄養士配置による目標収入額	診療報酬	3,000千円	3,242千円	A	A	3,000千円	栄養食事指導料 収入額 平成28 2,541千円 平成29 2,469千円 平成30 3,046千円 ・令和2年度 外来・入院栄養指導 3,000千円(計画)	外来は、前年度から124件減少、入院で200件の増加であった。 指導料では前年対比197千円の増加で、計画地を上回った。 外来の回復のためには医師からのオーダーを増やすことが必要である。 入院については、管理栄養士の積極的な指導を行ったことから増加している。 外来初回2,600円×112件=291,200円 外来2回目2,000円×457件=914,000円 入院初回2,600円×599件=1,557,400円 入院2回目2,000円×240件=480,000円 計3,242,600円	
	4	リハビリテーション実施による目標収入額	リハビリ料収入額	186,500千円	166,312千円	B	B	186,500千円	同規模の病院(病床200床未満)の療法士1人1日当たり平均単位数(ベンチマーク)13.7単位であることから、目標単位数を14単位と変更した。 H30年度以降計画 運動期リハ45,600単位×1,850円=84,360千円 脳血管疾患リハ41,230単位×2,450円=101,012千円 がんリハ550単位×2,050円=1,128千円 計186,500千円(計画)	令和元年度実績 脳血管リハ 20,585単位×2,450円=50,433千円 運動器リハ 40,553単位×1,850円=75,023千円 がんリハ 630単位×2,050円= 1,292千円 廃用リハ 16,105単位×1,800円=28,989千円 摂食機能療法5,716単位×1,850円=10,575千円 計166,312千円 平成30年より、平均単位数(ベンチマーク)+αの14単位を目標と変更した。 今年度の療法士1人1日当たり平均単位数は15.6単位であった。 (経営支援システムより算出)	
	5	健診・ドック利用者の拡大	収入増加策	80,000千円 (年間健診センター利用額)	93,483千円	A	A		健診センター収益計 平成28年度93,699千円 平成29年度94,671千円 平成30年度92,410千円 令和2年度80,000千円(計画)	前年度より1,073千円の増加しており、目標額を上回っている。 令和元年度実績(1年当たり) 通常健診センター 90,234千円 土曜日ドック 3,249千円 計 93,483千円	
	6	1年以上未収金残額の通減	未収金徴収	2,000千円	1,958千円	B	B	2,000千円	1年以上の未収金に対する徴収額 令和2年度2,000千円(計画)	未収金回収については、前年度を上回ったものの計画値を達成しなかった。 平成25年度 2,285千円 平成26年度 3,273千円 平成27年度 3,100千円 平成28年度 1,881千円 平成29年度 1,752千円 平成30年度 1,384千円 当院の督促(会計担当) 1,320千円 徴収専門員の配置 616千円 未収金回収業者の導入 22千円	

(注) 達成状況欄は、A:目標以上 B:一定の実績(8割以上) C:実績不足 により自己評価した

取組項目	番号	内容	指標	目標値 令和元年度	実績値 令和元年度	自己評価	評価委員	目標値 令和2年度	全体計画	実績及び成果等	評価委員指摘事項等
② 経費削減・抑制対策	1	SPD ・共同購入による経費削減	医療材料費	7.0%削減 (平成29年度ベース)	7.1%削減	A	A	9.0%削減(平成29年度ベース)	平成30年度 診療材料定数品削減率 5.0%(平成29年度ベース) 令和元年度 診療材料定数品削減率 7.0%(平成29年度ベース) 令和2年度 診療材料定数品削減率 9.0%(平成29年度ベース)	定数品納入額 平成29年度 82,997千円(ベース) 平成30年度 78,196千円 令和元年度 77,187千円  削減額 5,810千円	
	2	時間外勤務手当の抑制 (実績比毎年2%減 下記数値は手当合計額)	人件費	▲1,917千円	▲7,288千円	A	A	前年度実績対比 2%減	毎年2%ずつ時間外手当の削減 特に、医師及び看護師の負担軽減に鑑みた人員配置等により削減を目指す。  前年度実績対比 2%減(計画)	令和元年度 7.1%削減(平成29年度ベース) 【令和元年度残業実績】 医師計 36,006千円(昨年 42,938千円) 看護師計 38,113千円(昨年38,826千円) 医療技術職計11,571千円(昨年9,542千円) 事務職計 2,870千円(昨年 4,543千円) 合計 88,560千円(昨年95,849千円) 約7,288千円残業が減少 医師の長時間労働の抑制により目標を達成した。	
	3	院外処方の発行率向上 90%以上	医療材料費	90%以上	88.2%	B	B	90%以上	院外処方の発行率を向上することで、院内処方量を減らし、薬品費を削減する。 (薬品費削減額ベース) 院外処方の発行率90%以上	平成28年度 83.0% 平成29年度 84.4% 平成30年度 84.2% 令和元年度 88.2% 院外処方せん発行率が低い診療科は、神経精神科と透析センターであった。	
	4	ジェネリック薬品の採用率 60%以上(数量ベース) (25年度～27年度継続目標) H25 5,000千円 H26 3,000千円 H27 1,000千円 H28 500千円 H30 500千円		平成30年度対比 削減額500千円	平成30年度対比 2,879千円削減	A	A	前年度対比 削減額500千円	ジェネリックの採用率は前年比9%増の37.1%であった。 (数量ベース) 前年度対比削減額500千円(計画)	令和元年度は、薬価基準改定による購入額の減に加え、外科入院患者の減による薬品の減、院内処方箋の発行枚数削減により約5,731千円の削減としている。 前年度対比 平成28年度 1,500千円 82% 平成29年度 1,408千円 84% 平成30年度 1,324千円 89%	
	5	業務委託の内容及び金額の見直し(経費削減プロジェクトの推進)	経費	30年度対比 2,000千円削減	30年度対比 24,815千円増加	C	C	前年度対比 2,000千円削減	委託業務前年度対比 給食業務委託:36,926千円の増 検体検査委託料:2,796千円の減 医療機器メンテナンス費:5,616千円の減  その他 システム改修委託:7,290千円の減		

(注) 達成状況欄は、A:目標以上 B:一定の実績(8割以上) C:実績不足 により自己評価した